

当社運用ファンドの欧州サステナブルファイナンス開示規制に基づく分類について

当社は、投資顧問会社として運用するルクセンブルグ籍のインフラストラクチャーデットファンドが欧州サステナブルファイナンス開示規制(Sustainable Finance Disclosure Requirement、以下「SFDR」)に基づき、第8条ファンドとして分類されたことを発表します。

SFDR とは金融市場参加者における持続可能性に関するルールを標準化することにより、持続可能性に係るリスク評価の透明性を高めることを目的にした規制であり、最終投資家が金融商品を比較しやすくすることで、「グリーンウォッシング」(環境に配慮しているように装うこと)を防止することも目的の一つです。2021年3月10日に施行され、各運用機関は運用ファンドを第6条、第8条、第9条の3つのカテゴリーに分類し、当該カテゴリーの条件の遵守、及びその開示を求める規制です。

第8条ファンドとは、環境・社会的特性を促進する商品を指しており、サステナビリティリスクの投資プロセスへの統合に加え、環境・社会的特性の促進、計測、モニタリング、及びネガティブスクリーニングの実施等が求められます。今般、当社が投資顧問会社として運用する以下のファンドが第8条ファンドとして分類されました：

- Cosmic Blue PF Lotus FCP-RAIF
- Cosmic Blue PF Lotus II FCP-RAIF
- Cosmic Blue PF Lotus SA SICAV-RAIF
- Cosmic Blue PF Magnolia FCP-RAIF
- Cosmic Blue PF Magnolia Master SA SICAV-RAIF

SFDRに基づき、上記のファンドの具体的なスクリーニング手法、及び計測手法は以下のウェブサイトで開示しております。

<https://www.carnegroup.com/cosmic-blue-funds>

当社は、引き続きインフラデットファンドの運用において投資哲学として「エッセンシャルティエー(Essentiality)」をキーワードに国や地域社会に必要なインフラ事業への投資を行うことに専念し、グローバルに分散された良質なポートフォリオを構築して参ります。また PRI 署名機関として¹引き続き ESG の促進に貢献し、機関投資家の皆さまの運用ニーズに応えるべくさらなる運用プロダクト開発に注力していく所存です。

以上

¹ アセットマネジメント One が代表して PRI に署名しており、当社はグループ会社として PRI を遵守しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社

企画管理部 03-5221-1340